

新潟市秋葉区社会福祉協議会

秋葉区社協だより

Vol.51

2025.11.23 発行

支えあい、ともに笑顔でくすまち



地区活動紹介

地域の子どもを地域で見守るしんせき児童クラブ

(新関地区)



主な内容

- 新関地区の活動紹介
- 地域福祉推進フォーラムの報告&支え合いの取り組み紹介
- ボランティア情報
- 赤い羽根共同募金ご協力をお願い
- 区社協福祉推進会議の報告
- 秋葉区社会福祉協議会 社会福祉功労者表彰の紹介
- ひきこもりに関する講座の報告と家族懇談会のご案内
- 助成金ご案内
- ひとり親世帯食料支援の報告
- ふれあい福祉サービスについて
- 心配ごと相談のご案内
- 寄付者一覧 (令和7年6月1日～令和7年10月31日)

新関コミュニティ協議会は、保護者や行政からの要請を受け、令和元年4月1日に「しんせき児童クラブ」を開設しました。

当初、10名程度でしたが今では30余名。夏休みなどは40名もの子どもたちがやってきます。

来館者からは、元気な子どもたちの声、先生方と子どもたちとの心通ったふれあいなどの様子を高く評価いただいています。

最近、福祉関係の仕事を目指している地元出身の大学生や専門学校生が研修を兼ね、夏休みなど長期の休みに応援に来てくれています。大歓迎と同時に感謝いっぱいです。

多くの皆様から支えられている我が児童クラブをこれからも守り続けたいと思います。

新関コミュニティ協議会 会長 渡辺 和典

地域福祉推進フォーラムを開催しました！

令和7年10月17日（金）に秋葉区文化会館にて秋葉地域福祉推進フォーラムを開催しました。当日は会場とオンラインで多くの方よりご参加いただき、ありがとうございました。

基調講演では、「**地域みんなで生活を支えるしくみをつくらう！**」をテーマに、ご近所福祉クリエーターの酒井 保 様を講師にお迎えしました。ユーモアを交えた語り口と、地域に根ざした実践・体験に基づくお話は、多くの参加者にとって新たな気づきや学びの機会となりました。特に、「支える側・支えられる側」双方の視点の重要性や、日々の声かけやつながりといった社会参加がフレイル予防に効果的であることへの理解が深まり、地域における支え合いの意義を改めて実感する場となりました。

続く実践発表会では、「社会福祉法人 親和福祉会」様、小・小・金津・小須戸園域の「ごうめおたすけい」様、南区味方コミ協より「みんなのみな」様、3団体より、それぞれの立場から地域に寄り添う取り組みをご報告いただきました。参加者からは「地域みんなで生活を支えるしくみ」の具体的な実践例として、今後の取り組みへの大きなヒントとモチベーションにつながったとの声も多数寄せられました。



各園域における支え合いのしくみづくりの取り組み紹介

【小・金・津・小須戸園域】 地域の茶の間・ふれあいいきいきサロンが活発に行われているこの園域では、昨年度に続き、情報交換会を開催しました。今年度は、同様に集いの場も行っている老人クラブからも参加いただきました。当日は、参加者を増やす工夫や、自治会・町内会を巻き込んで地域全体で盛り上げていく取り組みが話題にありました。また、地域活動に積極的な老人クラブが多く、地域課題の解決に向けた担い手として活躍されていることも分かりました。

今年度は参加者同士で名刺カードの交換を行い、つながりづくりもバッチリ！今後も各団体の現状を共有し合い、課題解決の場として共に育てながら、支え合いのしくみづくりの拠点としてさらに広がっていきます。



（情報交換会の様子）

【新津第一・第二園域】 これまで話し合ってきたテーマ①緊急情報キットを活用した「地域の見守り」②見守りにおける認知症の対応（認知症の正しい理解を促める）については、園域で様々な啓発活動が広がっており、今後も地域の通常の取り組みとして継続していきます。今後は普段の暮らしの困りごとの声を把握し、支え合いの地域づくりに向け検討を進めていきます。そのためにも地域の茶の間・ふれあいいきいきサロンなど大切な支え合いの居場所が更に広がるよう地域の皆さんと一緒に考えていきます。居場所は楽しい時間を共有しながらちょっとした困りごとにも気軽に相談でき、あったらいい助け合いが生まれるきっかけとなり、安心して暮らせる地域づくりにつながる重要な活動です。



（新津本町1丁目）
いきいきサロンえきまえ



（山谷町2・3丁目）
わくわく山谷



（鉄島1～3丁目）
はつらつ鉄島



（北海町内会）
北海サロンスンチ

11月3日（祝）
新たに誕生！



【新津第五園域】 昨年度支え合いのしくみづくり会議で「ごみ出しにおける地域の助け合い」をテーマに検討し、構成員からの周知を積極的に行っていたいたこともあり、今年度2期でごみ出しの支え合い活動が始まりました。

今年度からは「移動の課題」についても検討しています。

〈滝谷町町内会〉 滝谷おてつたたい

民生児童委員がごみ出しに困っている方を把握し、町内会ですばやく検討を開始。昨年検討を重ね、今年5月から支援を始めました。町内で支え合いの機運が高まっています！



〈飯柳自治会〉 町内でごみ出しに困っている方がいると知り、「自治会内で助け合いができるというね」という気持ちから検討を行い、「まずはやってみよう」と6月から支援を始めました。協力員の確保等の課題もありますが、継続した支援ができるよう取り組んでいます。



ボランティア情報

総合学習（福祉の学び）

子どもたちが、地域には色々な人がともに暮らしていることに気づき、考えること、福祉を身近に感じて、優しい気持ちを持ち、声かけることの大切さを知ることを中心に、小中学校にて福祉教育を行っています。



ゲストティーチャーの視覚障がい者の方を会場まで案内。緊張していましたが大変上手に誘導できました。



秋葉福祉会の協力で認知症サポーター養成講座を開催しました。



アイマスクをして歩く体験、誘導する体験をしました。



手話サークルみずむの皆さんに手話を教えていただきました。



目の見ええない人にボールを渡す時に気を付けられないか、考えながら体験しました。



小合地区民生・児童委員の皆さんと一緒に高齢者体験をしました。

中学校の学び

福祉講話・視覚障がい者との交流（新津第二中2年）
認知症サポーター養成講座（新津第二中1年）
福祉と人権（新津第五中全学年）
認知症サポーター養成講座（小須戸中1年）
未来を創るSDGsと福祉活動（小須戸中2年）

子どもたちの声

福祉はとても身近にあるもの。特別なことではないことがわかりました。



人には人権があるということを忘れずに生きていきたい。私も人の役に立ちたいです。



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金へのご協力をお願いします

令和7年10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。

秋葉区でも自治会・町内会を通じて各世帯にお願いする戸別募金のほか、街頭募金、学校や職場、企業等、様々な方法で募金をお願いしております。

集められた募金は、県内の福祉施設や秋葉区内の地域活動などの福祉事業を推進する様々な活動に役立てられています。災害時には、被災地支援にも役立てられます。

今年も皆様の温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

この募金は任意のものであり、「募金額」は皆様の自由な判断でお願いいたします。
ただし、具体的な目安額を示してほしいという要望もありますので、当会として
ましては一世帯あたり400円を目安としてお願いできれば幸いです。



ご協力いただいた募金は、次のような活動に役立てられています。

- 生活・福祉課題への取り組み
 - ・ゴミ出し支援
 - ・むきごもりに関する取り組み
 - ・友愛訪問事業
 - ・心配ごと相談事業
- 子育て支援への取り組み
 - ・子どもの居場所づくりの立ち上げ、運営支援
- 地域の茶の間のいきいきサロン支援への取り組み
 - ・地域の茶の間のサロン団体の立ち上げ、運営支援
- 歳末たすけあい事業への取り組み
 - ・助け合い活動支援
 - ・歳末見守り事業

秋葉区での
募金の
使いみち

令和6年度共同募金運動のご報告

(秋葉区)

運動期間中ご支援いただきました地域の
の方々、学校、企業、各種団体の皆様に
厚く御礼申し上げます。

令和6年度共同募金実績総額

10,389,400円

・赤い羽根募金

7,010,274円

・歳末たすけあい募金

3,379,126円



地域の茶の間・いきいきサロン
いきいきサロンえきええ



歳末見守り事業（程橋）

令和7年度 区社協福祉推進会議報告

～「災害時の支援にも生きる地域のつながり」～

令和7年8月1日（金）、5日（火）、地域の助け合い、支え合い活動を推進することを目的に、地域コミュニティ協議会や地区社会福祉協議会、自治会長・町内会長、民生委員児童委員の皆様と秋葉区社会福祉協議会役員を対象に、区社協福祉推進会議を開催しました。

今年度は、「災害時の支援にも生きる地域のつながり」をテーマに行い、2日間で139名のご参加をいただき、災害時において私たちの地域で何ができるかを考えました。

会議では、西区社会福祉協議会 阿部 正事務局長より、令和6年1月の能登半島地震で大きな被害を受け、新潟市で初めて災害ボランティアセンターを開設した西区社会福祉協議会の取組みの説明、地域外から集まってくださるボランティアの方々をスムーズに被災した地域へコーディネートするにあたり、その地域の目頃から住民同士のつながりがいかに重要であったかという報告でした。

その後、地域コミュニティ協議会ごとのグループで、報告を聞いた感想や地域のつながりづくりの現状について話し合いが行われ、災害ボランティアセンターのことをよく知らなかったというご意見や、いざという時にもつながりがあることが大事、地域とのつながりをつくるために見守り活動や地域の茶の間のサロン活動があるのだという確認をされているグループもありました。

今後も、地域の皆様と話し合いを重ねながら、「つながりのある地域づくり」を進めていきたいと考えております。



秋葉区ボランティア・市民活動センター

…親子講座 サイエンス★ラボ 開催…

令和7年8月2日（土）10:00～新潟薬科大学新潟キャンパスにて新潟薬科大学重松教授と学生ボランティアの皆さんとの協力のもとサイエンス☆ラボ ～小さな微生物たちのふしぎな力～を開催しました。

参加者は15組（35名）。子ども達は白衣を着て、研究員のように酵母菌を電子顕微鏡で覗いたり、発酵させたり、酵母菌を使って絵を書いたり、親子で相談しながら実験に取り組みました。

1つのことを一緒に行うことは親子にとって大切な時間となりました。

大学生が自分の得意を活かしたボランティア活動をしている姿からボランティアを身近に感じる良いきっかけになりました。



開催
予告

.. 障がいの理解の講座 .. (精神障がい・知的障がい)

障がいを持っている人も地域の仲間です。障がいを理解し、目の前にいる人に向けることができるかを考え、お互い様、理解する気持ちで深めるために開催します。

日時 令和7年11月25日（火）14:00～16:00

会場 新潟地域交流センター 多目的ホール3階

内容 ①精神障がいの理解

新津信愛病院 院長 長谷川まこと氏

②秋葉区内の障がい者施設を知る

・親和福祉会 コトイロ日和

・NPO 法人あきはあすなろ会

地域活動支援センター いしずえ

参加費 無料

お問い合わせ・お申し込み

秋葉区ボランティア・市民活動センター

TEL (0250)24-8345

FAX (0250)23-3322



令和7年度秋葉区社会福祉協議会 社会福祉功労者表彰

令和7年10月17日(金)に開催しました「秋葉区地域福祉推進フォーラム」にて秋葉区内において民間社会福祉の増進に貢献し、社会福祉事業の進展に寄与された方々にその功績をたたえ、表彰状を贈らせていただきました。(敬称略)

◇自治会長・町内会長として6年以上勤務または民生委員児童委員においては6年以上勤務し、特に功労のあった者

自治会長・町内会長 内田 研一様 豊田 勝憲様 小松 茂夫様 民生委員児童委員 内藤 一明様
井村 一雄様 田代 恒順様 川崎 洋一様

◇秋葉区社会福祉協議会の役員として8年以上勤務し、特に功労のあった者 白井 智雄様

◇地域福祉活動を6年以上行い優秀な実績を示し、

他の模範となる個人、団体または企業 春日 カズ工様 長谷川 仁様 はさぎ野塾様 あきは日本語教室様

◇社会福祉事業に20万円以上の金品を寄付した団体 新津 ロータリークラブ様



●●ひきこもりに関する講座のご報告●●

令和7年10月23日(木)に、ひきこもりに関する講座を開催しました。ひきこもりに関して16年、子ども家庭庁などのひきこもり支援講座上級者コースの講師も務められている、長岡崇徳大学客員教授の高藤まさ子先生を講師にお招きし、ひきこもりの正しい理解と支援について学びました。

ひきこもりは、社会が生み出す様々な生きづらさからなんとか自分を守ろうとする手段の一つとも言われます。ご本人やご家族の責任ではないこと、周りの温かい見守りや接し方が大切だということなどのお話があり、参加者は理解を深めていました。

終了後には、高藤まさ子先生とひきこもりの方のご家族の懇談会を開催、参加した皆様からは日頃の悩んでいる胸内や接し方についての質問など、和やかな意見交換がなされました。

～ひきこもり家族の懇談会のご案内～

今回は**令和8年2月18日(水)**を予定しています。ご案内は秋葉区社会福祉協議会のホームページにてご確認ください。「本人にどう声をかけたらいい」「親として何をすればいい」など様々な想いを分かち合う場です。話さなくても話さなくても良いので、お気軽にご参加ください。



各種助成のご案内



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金を財源として実施しています。

歳末たすけあい事業

いるひとり親世帯または両親がいない世帯の方へハンドセル・指定団体操縦に行方事業(クリスマス会や費の神など)を支援します。

対象団体:自治会・町内会、地区社会福祉協議会、地域コミュニティ協議会、福祉施設

歳末除雪たすけあい事業

除雪の除く見守りを目的として実施する除雪活動を支援します。対象団体:自治会・町内会、福祉施設

ひとり親世帯等入学準備助成事業

来春小・中学校へ入学するお子様が「知れ」を鑑くください。

詳細や必要な書類等については、秋葉区社会福祉協議会までお問い合わせください。

秋葉区社会福祉協議会 TEL 0250-24-8376

ひとり親世帯の方々への生活支援をはじめ

令和7年7月25日(金)、26日(土)、ひとり親世帯への生活支援として、お米や野菜などの食料を配布する事業を行いました。

株式会社によつてフードまや親和福祉会がトイロ日と日まから配達と搬入の協力をいただきました。また当日は秋葉区社会福祉協議会役員有志の協力で、袋詰め作業を行いました。240世帯の皆様には配布することができ、夏休み期間中のお昼ご飯などに大変助かるというお声をいただきました。



ふれあい福祉サービス

～「困ったときは、お互いさま」そんな気持ちからつくられました～

ふれあい福祉サービスは、住民同士の助け合い活動です。

○利用できる方 秋葉区内にお住まい、おおむね65歳以上の方
障がい児・者、お手伝いが必要な方

○活動内容 調理及び食事の準備、買い物、掃除、洗濯、ゴミ出し 等

○利用日時 平日の午前9時～午後5時(ゴミ出しは、8時半までに実施)
土日祝日および12月29日～1月3日はお休み

○利用料 1時間につき500円(ゴミ出しは30分250円)

生活保護世帯は半額です

活動いただける協力を募集しています!

資格等は必要ありません。サービスにご理解をもって活動くださる方でもどなたでも登録できます。短時間での活動も可能です。わからないことが多い初回の活動は職員が同行します。

毎月20日に説明会を開催していますので、お気軽にお問い合わせください。

予約は不要です。

秋葉区社会福祉協議会 TEL 0250-24-8376

秋葉区心配ごと相談所(来所相談・電話相談)

・日時:毎週月・金曜日 午前10時～午後3時

※祝日の場合は休み

・場所:新津地域交流センター 2階 相談室

・TEL:0250-24-8376

どこに相談すればいい?誰に相談すればいい?

不安や悩みごとは心配ごと相談所へご相談ください。

相談員が親身に相談に応じます。

ひとりで悩まず お気軽ににご相談ください

相談無料
予約不要

あたたかいご寄付をありがとうございます

秋葉区内の福祉事業・活動に活用させていただきます。

(令和7年6月1日～令和7年10月31日)

寄付者氏名(敬称略)	寄付金額・物品	寄付先
新津ロータリークラブ	米 30kg	秋葉区内子ども食堂
ラママ	30,000円	秋葉区社協
日置 文子	10,000円	秋葉区社協
ひだまり	17,979円	秋葉区社協
皆川 斉志	米 50kg	秋葉区内子ども食堂

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会

秋葉区社会福祉協議会

新潟市秋葉区新津本町 1-2-39

TEL: 0250-24-8376 (代表)

FAX: 0250-23-3322

TEL: 0250-24-8345

(秋葉区役所・市民生活センター)

URL: <http://niigataaikhaku-syakyo.jp/>

秋葉区社会福祉協議会

検索



秋葉区社協だよりの郵送申込みを受け付けています

より多くの皆さまに情報をお伝えできるよう希望される方には個別に郵送をしています。お近くのぜひご案内ください。

お申し込み先: 秋葉区社会福祉協議会

TEL0250-24-8376

FAX0250-23-3322

第3期(7月・10月・11月)に発行予定です!

秋葉区社協だよりは、新聞折り込みでお届けするとともに、区役所、コミュニティセンターなどに設置をさせていただいております。

目の不自由な方を対象に、点字版や音声版(デジター・CD版)も発行しています。

